

一般社団法人愛知ジビエ振興協議会 2019年度第1回定時社員総会
議事録

- 1 開催日時 2019年5月23日(木) 午後4時～5時30分
- 2 開催場所 愛知県林業会館2階・研修室(名古屋市中区丸の内3-5-16)
- 3 出席者 役員
理事;松良宗夫、大西光夫、金田治久、鈴木良秋、寺島 治、原田民夫、藤森幹人。
監事;青木正道。
社員;議決権のある社員数 20名
出席社員数 14名(委任状1名含む)
- 4 議長 定款に基づき、出席した社員のうち、藤森幹人を議長に選任した。
- 6 議事録署名人 議長以外の議事録署名人は、定款に基づき、松良宗夫と寺島治を選任した。
- 7 議事録作成者 業務執行理事大西光夫を選任した。

上記のとおり、社員総会が成立したので、議事に入った。

- 8 議案審議及び結果
 - (1) 1号議案「2018年度事業報告案」について
議長は、1号議案について、業務執行理事大西光夫に説明を求め、大西光夫は、「2018年度事業報告(案)」に沿って説明した。協議の結果、全員が賛成し、原案通り可決した。
 - (2) 2号議案「2018年度決算報告案」について
議長は、2号議案について、業務執行理事大西光夫に説明を求め、大西光夫は、「2018年度決算報告(案)」に沿って説明した。協議の結果、全員が賛成し、原案通り可決した。
 - (3) 監査報告について
議長は、監査報告について、監事青木正道に説明を求め、青木正道は、「2018年度監査報告」に沿って説明し報告した。
 - (4) 報告事案1「2019年度事業計画」について
議長は、報告事案1について、業務執行理事大西光夫に説明を求め、大西光夫は、「2019年度事業計画」に沿って説明した。
 - (5) 報告事案2「2019年度予算」について
議長は、報告事案2について、業務執行理事大西光夫に説明を求め、大西光夫は、「2019年度予算」に沿って説明した。

- 9 閉会
以上をもってすべての議事が終了したので、議長は、午後5時30分をもって閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2019年5月27日

議 長 藤森 幹人

議事録署名人 寺島 治

議事録署名人 松良 宗夫

【参考】

- 1 総会に先立って、愛知県農業水産局農政部農業振興課(3名)の来賓出席と情報提供があった。
来賓出席;長谷川勲課長、西山満哉主査、原知明技師
情報提供;①2019年度の愛知県の取組み、②豚コレラ経口生ワクチンの食品安全委員会の評価結果
- 2 社員総会において、出席した社員からの主な発言(要旨)
○稲武地域でのジビエグルメ街道スタンプラリーは今年で4回目。着実に発展させたい。
○三河山間地の産直所等の活性化事業を実施してきたが参加団体が減り、転換期に直面している。
○ジビエをPRするためには、冬の季節を選ぶと良い。
○クックパッドやインターネットなどを活用した宣伝が有効だ。
○中山間地のPRのためには名古屋地区でのPRが重要だ。
○女性企業家や有松絞などとの連携による活動が効果的だ。
○会の活動充実のためには商品開発など収益事業に取り組む必要がある。
○高齢層と若者層では使用している情報ツールが違う。対象の違いを意識した広報が必要。
○ジビエ肉を牛や豚肉と並ぶレベルへ評価を高めることが必要。狩猟者からの入手の確保が重要。
○豚コレラの影響が心配。豊田市で発生した場合、組織解散も起こり得る。
○ヤミ肉の流通が大きな課題。行政指導で止めることは出来ないのか。